

団体名：特定非営利活動法人 シェア・マインド

活動地域：府中市

助成額：49,562 円、助成回数：1 回

ホームページ：<https://www.sharemindjp.com/>

【当初の目的に対しての結果】

当初の計画は、定期的な食品購入の助成を受け、生活困窮者や苦学生への支援を行うというものでした。しかし現在借りている食品倉庫の契約期間が未確定であったり、それに代わる倉庫探しに難航する中で、定期的な注文と引き受けが先送りになり続け、大変ご迷惑をおかけしました。助成を受け購入した食品は、食料支援を利用する全ての方に喜ばれました。良い素材で丁寧に作られた食品には、人を癒し励ます力があるのだと、東都生協の皆様からのご支援で毎回思い知ります。食料支援活動は、支援物資の内容が防災食に偏る事が多くあり、配布を行う際に「この内容で健やかな心身で過ごせるのか。」という葛藤が現場で常態化しています。そんな中、助成を受け購入させて頂いた食品がパントリー会場に並ぶと、「こんなに良い食べ物を渡せる。」という喜びを感じます。ご利用者の方々にも笑顔が浮かび、感謝のメッセージが届いています。

【主催者の感想】

東都生協の皆様からのご支援に、いつもどれほど救われているか分かりません。食料支援は、常に食品在庫とその栄養バランスが、主催者の精神状態に直結しています。食料支援の主軸となる防災食品は、支援現場に無くてはならない、ありがたい寄付食品です。しかし、非常時用に作られた食品のみで1週間を過ごし、果たして人は健やかな心身を保てるのでしょうか。私たちの活動の根幹には、困っている方に対し「絶望しないでほしい。」という思いがあります。心身に力のつくものをお渡ししたいという気持ちで活動をしています。一方、全てをボランティアで行う活動の中、支出に対してナーバスにならざるを得ません。そんな中、『未来につなぐ募金』の助成では、素晴らしい商品の中から、何でも選ぶ事ができます。「今まで、こういう食品が喜ばれた。」「あのご家庭にも、この食べ物は喜ばれる。」「お米とこの商品さえあれば元気が出る。」このように希望いっぱいの気持ちで商品を選ぶ事ができ、支援利用者の方々の前に、まず私たちが励まされております。『必要なものを選べる』というご支援は、活動へご支援頂いている中でも稀

有な例であり、また私たちの支援の在り方としても目指すべき究極の形です。

【支援を受けられた方の声】

「凄く良い物を頂けたので、これも余り物なのですかとスタッフの方に聞きました。東都生協さんからのご協力と聞き、こんな方法で助けてくれる人達がいるんだと驚きました。頑張っって今を乗り越えようと思います。」「東都生協さん取り扱いのカレーが支援の中に入っていました。昨年も大変な時期に助けてもらった時、瓶詰や海苔が東都生協さんの物と聞きました。精神不調の時にシェア・マインドに支えてもらっているのですが、シェア・マインドのスタッフさんは東都生協さんに支えてもらっていると聞きました。温かい気持ちの繋がりがあって自分は今生きられるのだと感謝しています。」「いま生活が辛いのは自分のせいだと思っています。だから食料支援でこんなに美味しい物が貰える事に、驚きと申し訳ない気持ちがあります。レトルトをご飯と一緒に食べた時、泣きそうになりました。今は大変だけれど、必ず生活を立て直して、僕も誰かの役に立ちたい。」「大学のため上京しました。親からの仕送りは貰わず、全部自分の働きで生計を立てています。コロナの影響でシフトが減ると、あっという間に生活が大変です。一時は自主退学を考えましたが、卒業までもう一息。稼げるようになって、必ず恩返しをします。」「宗教上の理由で食べられない物があります。これを言うと嫌がられる事が多いです。」「東都生協さんから貰えた物」と食品を貰った。ありがとうございます。」

【その他、意見・要望など】

2018年からのご協力に心から感謝します。未来につなぐ募金や臨時のご支援、フードドライブでのご協力を頂き、支援団体としての大変な時期を、何度も助けて頂いています。会員の方々、ご担当者の方、配送現場の皆さん、事務局の皆さん、すべての組合員の方々に支えられ、私たちの活動はここまで来られたと思っています。支援現場でいっぱいになりがちで、たくさんのご迷惑をおかけしている自覚があります。しかしその度に柔軟に受け止めて頂き、いつも潤沢なご支援を頂き、感謝が尽きません。このように支えて頂いているので、2022年もまた元気に活動していこうと思う事が出来ます。本当にありがとうございます。